

5 組織運営

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
学校の課題を明確にして、特色ある学校運営を計画的・組織的に行っている	前期	おおむね良好	良好	保護者アンケートの⑩「子どもは、自分のよさを見付けている」が、児童アンケートの結果と違って低い数値になっているが、これは親が我が子をどうしても低く見がちになるためと思われる。実際には、よくやられている。今後も、継続した取組を行ってほしい。
	年度	良好		
評価指標			主な取り組み	自己評価B 前期 年度
⑨課題に対応した特色ある学校運営			教育目標の明示,評価結果の公表,PDCAサイクルを生かした改善 調和のとれた教育課程の編成,ねらいに即した学校行事の運営	3 4
⑩自己有用感を高める生徒指導の充実			教育相談・児童理解,児童を語る会,問題行動への対応	3 3
⑪個に応じたきめ細やかな学習指導			学力検査の分析と個別指導,チャレンジテスト・県単元評価テストの活用 パワーアップタイム	4 4
⑫指導力を高める研修の充実			校内研究の推進,研修成果の共有化	3 4
				3 3

学校の改善策	【前期→年度】	<p>⑩毎月、学校生活アンケートを実施して、実態把握に努めてきた。アンケートに記入された内容に応じて個別の聞き取りをし、1学期には、全児童を対象に教育相談も行った。そうして得た情報は、児童を語る会を通して全職員で共通理解し、問題行動の未然防止と児童の実態把握に努めている。また、全ての保護者との個人面談も実施し、家庭での様子や学校における悩み事などの把握にも努めた。</p> <p>⑫9月に「授業を見合う会」を実施し、授業についての感想や意見を出し合った。出された意見は、今後の授業改善に役立てられるように、全員で共有した。10月に算数科の研究授業があり、指導助言をもとに教科指導に当たっている。教師の研究推進に対する意識が高まっているが、学び合いや深い学びに結び付けるためのコーディネート力向上が課題となっている。</p>
	【年度→次年度】	<p>⑨諸行事や各分掌の取組についてはPDCAサイクルを機能させ、常に振り返りを行い改善を図ってきている。今後も、様々な取組を常に教育目標と照らし合わせ、さらなる改善につなげていきたい。</p> <p>⑩各種アンケートを実施した上で、児童を語る会や教育相談を丁寧に積み重ねてきた。またQ-U検査の結果を基に学習集団づくりについても研修会を開催し、全職員で児童理解に努めた。問題が発生した場合には、学級担任と共に生徒指導主事も加わり、組織的に対応することを心がけてきた。今後もいじめ・不登校を未然に防ぐ取組に継続的に取り組んでいきたい。</p> <p>⑪諸調査の結果を分析して本校の課題を捉え、授業改善の方向性を提案することができた。また、1学期からパワーアップを取り入れ、計画的に復習をすることができた。次年度も継続していきたい。</p> <p>⑫平元小の授業スタイルを早い時期に共有するため、次年度は1学期に提示授業や「授業を見合う会」を行うようにしたい。また、学び合いのコーディネート力向上に向けた取組に重点を置くようにしたい。</p>

【各種データ】					
保護者アンケート					
		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑩	子どもは、自分のよさを見付けている。	2.9	70	2.9	74
⑫	子どもは、周りの人たちとスムーズに意見を言い合える。	2.9	69	3	76
⑬	子どもは、様々なことに積極的に取り組んでいる。	3.2	84	3.2	88
⑯	教職員の対応は迅速で丁寧である。	3.4	91	3.6	94
児童アンケート					
		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
☆	自分のよさやがんばりを発揮できましたか。	3.6	90	3.8	99
☆	友達や、周りの人たちと上手に意見を言い合うことができましたか。	3.7	94	3.7	99
職員個人評価					
		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑨	教育目標の明示,評価結果の公表,PDCAサイクルを生かした改善 調和のとれた教育課程の編成,ねらいに即した学校行事の運営	3.4	100	3.5	100
⑩	教育相談・児童理解,児童を語る会,問題行動への対応	3.2	100	3.3	90
⑪	教育相談・児童理解,児童を語る会,問題行動への対応	3.3	100	3.9	100
⑫	学力検査の分析と個別指導,チャレンジテスト・県単元評価テストの活用,パワーアップタイム	3	89	3.5	100
⑬	校内研究の推進,研修成果の共有化	3.1	100	3.4	100

自己評価A及び外部評価の評価区分	
○	きわめて良好
○	良好
○	おおむね良好
○	やや不十分
○	努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80～90%、前年度比103～107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60～79%、前年度比98～102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50～59%、前年度比93～97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下